

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
1	施設整備の意義	文化が果たす役割の重要性は意識調査の結果からも明らかであり、ライブ等の開催も敬遠されるような非文化都市では若者世代の流出を止めたり県外からの移住を増やしたりすることはできないと思う。	本県文化振興の中核施設として、また多くの人を集客し、街のにぎわいづくりに貢献できる施設を目指したいと考えており、整備構想でもそうした考え方を明記したところです。	
2	施設整備の意義	国民文化祭の開催を契機に文化振興の一層の進展を図るためにも、秋田の文化の殿堂、芸術文化の発信基地となる施設を整備することは大いに意義があることだと思う。	ご意見にあるように、秋田の文化の殿堂、芸術文化の発信基地を整備するという意識で事業に取り組んでまいります。	
3	施設整備の意義	施設や設備の老朽化は限界に来ているため、県と市が共同で複合文化施設をつくることは大賛成である。一日でも早く整備してもらいたい。	県民の皆様の意見を十分にお聞きしながら、事業を進めてまいります。	
4	施設整備の意義	100年の大計に沿って、郷土愛や豊かな人間形成につながるような施設を建設し、県市民に元気を与えてもらいたい。	ご意見にお応えできるような施設整備を目指してまいります。	
5	施設整備の意義	機能性、利便性を追求するあまり「非日常性(遊び)」の部分が失われないよう、建物自体も人を惹きつける魅力のあるものにしてほしい。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
6	施設整備の意義	後発の利を活かして東北や全国に誇れる施設にしてほしい。	ご意見にお応えできるような施設を目指してまいります。	

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
7	施設整備の意義	秋田県を代表する施設ではなく、東北を代表する文化のシンボル、東北一の音響・機能・規模を誇る施設を目指してほしい。	ご意見にお応えできるような施設を目指してまいります。	
8	施設整備の意義	ホールの備品については、主催者の意見を取り入れ、国内外のトッププロを招聘するにあたって恥ずかしくないレベルのものを用意してほしい。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
9	施設整備の意義	新しい施設は、県市民に勇気を与え、士気高揚に、グローバル世界に通用する建造物(殿堂)であることが条件になるのは間違いない。	ご意見にお応えできるような施設を目指してまいります。	
10	施設機能	建てるとした場合、市街地に舞台芸術型ホール(800～1200席)だけを備えた施設を整備すべきである。	県民会館の利用状況や、有名アーティストの公演は、2,000人規模のホールがあることを条件に開催されるというプロモーター等の意見を踏まえると1,800人～2,200人規模のホールが本県にも必要であると考えております。	構想等への反映は困難
11	施設機能	高機能型ホールは、吸音と反射のバランスが重要で一定の残響が必要である。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
12	施設機能	管理上、二つのホールで同時に公演を行うことは難しく、結果として今より使用できる日数が減ってしまうため、新たな文化施設に「高機能型ホール」を、文化会館に「舞台芸術型ホール」を分けて整備すべきである。	県市一体による整備は、それぞれが別に整備するよりも有益であり、行財政改革の観点からも有用と考えます。 ホールの配置など施設の設計により、2つのホールで別の公演を行うことも可能と思われることから、施設の整備が具体的になった場合には配慮してまいります。	構想等への反映は困難
13	施設機能	歌舞伎座のように余裕のある座席にすべきで、席数を確保するために座席を貧弱化してはいけません。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
14	施設機能	大型ステージは、宝塚ホールのように複数の舞台が同時に利用でき、オペラなどにも対応できるものが望ましい。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
15	施設機能	財政面だけを考え、規模を縮小したり、機能を妥協したりせず、人口が減少し交流人口拡大が求められる今こそ東北でも最高の音響と高機能、最大級の規模を有する施設にしてほしい。2500人は無理だとしてもせめて2200人規模にしてほしい。役割、機能からも2つのホールを整備することは必要と思います。	高機能型ホールの規模のレンジについては、イベントプロモーターの意見も参考に設定させていただきました。今後、整備が具体的になった際には、どの程度の規模が適切か再度、検討してまいりたいと考えております。	具体的な計画の段階で参考とする
16	施設機能	二つのホールを併設する場合には、互いの音が影響し合わない細心の注意を払ってほしい。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
17	施設機能	秋田県では超メジャー級のアーティストでなければチケットが捌け切れないという特徴があり、東北の他県に比べて全国ツアーに組み込まれないという現状がある。2,000人規模のホールをつくるよりも、むしろ郊外に7,000～9,000人規模のコンサートやイベントを開催できるアリーナを建設した方が県民が望む大型アーティストの来秋の確率が高くなると考える。	文化イベントのプロモーターの聞き取り調査等から2,000人規模のホールであれば、これまで以上にアーティストの公演が行われるものと考えております。	構想等への反映は困難
18	施設機能	県民会館の舞台、楽屋、搬入口の狭さ、文化会館の搬入口廻りの使い勝手の悪さは改善が必要。いわき芸術文化交流館「アリオス」をお手本にしてほしい。	同様の問題意識を持っており、新たな文化施設の整備にあたっては、ご意見も参考にさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
19	施設機能	トイレの混雑を予防するため、女性用トイレを大幅に増やしてほしい。	同様の認識であり、新たな文化施設の整備が具体的になった際には、十分に配慮してまいります。	構想に反映(P15)

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
20	施設機能	日本の文化施設は、全般的に収容人員に対し、トイレ(特に女子)が少ないので、必要数を整備してほしい。	同様の認識であり、新たな文化施設の整備が具体的になった際には、十分に配慮したいと考えております。	構想に反映(P15)
21	施設機能	中規模ホールは、既にアトリオンと児童会館(ともに約700席)があることから、2,000席以上の大ホールと、300～400席の小ホールを整備すべきである。	300人～400人の小ホール的な機能については、既存文化施設との役割分担を前提とし、舞台芸術型ホールの活用など対応を考えてまいります。	構想に反映(P14)
22	施設機能	県民会館・文化会館が果たしてきた「発表の場の提供」という役割を考えると、小規模な団体も発表の場として利用できる300～400人の小ホールの整備が必要であり、料金もホールの大きさに応じて少額に設定することが望ましい。	300人～400人の小ホール的な機能については、既存文化施設との役割分担を前提とし、舞台芸術型ホールの活用など対応を考えてまいります。	構想に反映(P14)
23	施設機能	小ホール機能は、アルヴェ、アトリオン、AU等でも担えること、施設や機能を盛り込み過ぎて中途半端な施設になりかねないことから小ホールの整備は必要ないとする。	小ホール機能については、既存文化施設の活用促進を図っていく方針を、整備構想で示したところです。	構想に反映(P14)
24	施設機能	第5回検討委員会で検討されたように400名程度の小ホールは必要である。	300人～400人の小ホール的な機能については、既存文化施設との役割分担を前提とし、舞台芸術型ホールの活用など対応を考えてまいります。	構想に反映(P14)
25	施設機能	子育て中の方も芸術鑑賞の機会が持てるよう親子鑑賞室か、託児室を設けてほしい。	同様の認識であり、新たな文化施設の整備が具体的になった際には、十分に配慮したいと考えております。	具体的な計画の段階で参考とする
26	施設機能	練習会場として、10～70人規模の部屋を10室程度整備することが望ましく、うち1室は、発表用のステージと客席を備えたものが必要である。	整備構想では、リハーサル室や楽屋などの整備の必要性を示しており、その他の施設構成については、今後、整備が具体的になった段階で検討する予定であり、ご意見も参考としてまいります。	具体的な計画の段階で参考とする

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
27	施設機能	搬入口は、各ホールごとにあり、それぞれのステージ袖のすぐ近くであれば、主催者にとって利用しやすくなる。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
28	施設機能	高機能型ホールには70名以上、舞台芸術型ホールには50名以上収容できる楽屋をつくってほしい。また、保安面からそれぞれのホールの楽屋が独立した配置としてほしい。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
29	施設機能	アトリオン内にある秋田県物産振興会と県産品プラザ展示即売室を新県民会館に移転し、大衆レストランを新設したらいいのではないか。	入居団体の意向もありますが、施設構成を具体的に検討する段階で、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
30	施設機能	開場前にお客様が雨や雪を凌いでゆっくり待つことができるスペースが必要である。待ち時間を楽しめるよう図書館やカフェを併設することで、イベントのない日でもにぎわいを創出できるのではないか。	整備が具体的となった場合には、ご意見を参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
31	施設機能	ホール等に隣接して高層ビル等を建設し、放送局機能や多目的機能等の「追加機能」を組み込むことを検討してもいいのではないか。	現段階では、高層ビル等の建設や放送局等の機能の併設は考えておりません。	構想等への反映は困難
32	施設機能	新文化施設に放送局機能を設け、民放1局ではそのスペースが大きすぎる場合は、他局も入居させることを検討してもいいのではないか。	現在のところ、放送局機能は、文化施設とは別のものと考えております。	構想等への反映は困難
33	建設場所	立地は、駐車場スペースを十分確保したうえで市街地が理想で、交通の便から秋田駅東口北側の駐車場エリアか、JRこまち駐車場～公園エリアしか考えられない。	ご意見も参考としながら、建設場所の選定を行ってまいります。	具体的な計画の段階で参考とする

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
34	建設場所	秋田市中心部と、大町地区の活性化のため、旧ダイエー、ニューシティ跡地がふさわしい。	ご意見も参考としながら、建設場所の選定を行ってまいります。	具体的な計画の段階で参考とする
35	建設場所	郊外のデメリットの中に「他施設との連動性が難しくなる」とあるが、コンサートに来た人の大半が他施設にも行くとは思われない。	文化イベントやコンベンションなど、大掛かりなイベントの際に、複数の施設を併用したり、文化施設が共通テーマを持って文化イベントを開催することも想定されるなど、文化施設が集約することで、連動性が生まれるものと考えております。	
36	建設場所	郊外のデメリットの中に「公共交通機関によるアクセスが不便」とあるが、建設地が決まっていないのに比較するのはおかしい。必要であればバス路線を増設すれば良いのではないかな。	建設地が確定していない中での比較ですので一般論となりますが、いずれ、来場者の利便性が高くなることを念頭に設置場所を選定していく方針としております。	
37	建設場所	アトリオン、児童会館、県立図書館等、今までも公共交通機関利用を原則として駐車場を整備してこなかったが、その結果(利用率、利用者の声)を検証するべきではないかな。	今後、施設の整備が具体となった場合には、駐車場の取扱いについて、十分に検討してまいります。	
38	建設場所	秋田市以外(郊外を含む)に住んでいる人にとって、車は欠かせない移動手段であり、高齢化が進むなか車で行けるメリットは大きい。整備構想は初めから市街地ありきのように感じる。	建設地にかかわらず、一定規模の駐車場については何らかの形で確保してまいります。	
39	建設場所	一つの施設に二つのホールを整備するとなるとそれぞれのホールの大きさが制限され、必要な土地などの条件が限定されてしまうのではないかな。	施設の整備が可能な十分な面積の土地を確保することが前提ですが、建物の整備においては、ホールの配置など施設の設計により工夫できることもあるものと考えております。	

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
40	建設場所	「現地建て替えは困難」としているが、はじめに新しい文化施設を建設し、その後に市文化会館を改修、その期間中は新しい文化施設と県民会館でその機能を補い、最後に県民会館を解体すれば、可能になるのではないか。財政的に厳しければ、まずは今あるものを活かすべきである。	市文化会館は33年が経過し、今後も引き続き使用する場合は、多額な維持・改修経費を要することから、改修により二つの施設を維持するよりも、新たな文化施設を一体整備する方が、より効果的で効率的な運営が見込まれるものと考えます。現地での建て替えについては、両施設の稼働率を考えると、両方が使えない期間をつくらない方が望ましいと考えております。新たな施設の整備においては、街のにぎわい創出という観点も重要と考えており、そのような観点でも立地を検討していきたいと考えております。	構想等への反映は困難
41	建設場所	市街地、郊外のメリット、デメリットとして挙げられた項目数から市街地ありきと感じる。一番のデメリットは、「市街地では余裕のある空間構成が制約される可能性がある」ということであり、最初から場所ありきでは中途半端なものになってしまうのではないかな。	建設地が確定していない中での比較ですので一般論となりますが、空間構成については、施設の設計で工夫できることもあるものと考えておりますので、整備が具体的になった場合には、十分に検討してまいります。	
42	建設場所	噂にあるダイエー跡地では、旧ADのビルに隠れ、駅方面から見つけることができないほか、駐車場の問題や周辺道路の渋滞などデメリットばかりである。	現時点では、特に立地を特定しているものではありませんが、来場者の利便性が高くなること、街のにぎわい創出、文化芸術ゾーンの形成という観点等から市街地に整備することが望ましいと考えております。	
43	建設場所	秋田駅と直結できることや、中央ICからのアクセスを考えれば、駅東口のバスプール隣の駐車場あたりが良いのではないかな。あるいは、中央ICに近いノースアジア大学周辺でも良いのではないかな。	ご意見も参考としながら、建設場所の選定を行ってまいります。	具体的な計画の段階で参考とする
44	建設場所	都市計画マスタープランでは、駅東地区に都市機能を導入することとなっており、駐車場など低未利用地が多く、土地区画整理事業を進めている駅東地区が最も適地と思われる。	ご意見も参考としながら、建設場所の選定を行ってまいります。	具体的な計画の段階で参考とする

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
45	建設場所	参考資料を見ると旧ダイエー跡地を第一候補としているようだが、人の流れを生み出すには駅の東西の交流を盛んにする必要がある。	現時点では、立地について具体的に検討しているものではありません。人の流れを生むにぎわい効果は重要と考えていることから、ご意見も参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
46	建設場所	「他の文化施設との連動性」はどのような状況を想定しているのか。	文化イベントやコンベンションなど、大掛かりなイベントの際には、複数の施設の併用や連携が考えられます。	
47	建設場所	県内はもとより隣県からのアクセスを考えると大半が自動車利用なので、南ICか北IC付近が望ましい。特に北IC付近だと構想中の「泉・外旭川新駅」と併設することで、鉄道利用者の利便性も向上し、恒常的な集客も可能になるのではないかな。	ご意見も参考としながら、建設場所の選定を行ってまいります。	具体的な計画の段階で参考とする
48	建設場所	秋田駅周辺への集客だけではなく、秋田駅と他の魅力ある複数の地域を結び、人が行き交うことが、中心市街地の活性化につながるのではないかな。	人の流れを生むにぎわい効果は重要と考えていることから、建設場所の選定の際には、人の流れについても十分考慮してまいります。	
49	建設場所	市街地立地には賛成であるが、駐車場用地の確保が難しいことから、新文化施設は泉新駅周辺が望ましい。秋田駅からシャトルバスの運行を提案する。	ご意見も参考としながら、建設場所の選定を行ってまいります。	具体的な計画の段階で参考とする

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
50	建設場所	立地環境として市街地しかあり得ないと思う。公共交通機関の利便性や高速道路からのアクセスなど、駅東口が最高の立地だと思う。その場合、文化施設と秋田駅を直結する連絡通路を設けるのが理想的である。	ご意見も参考としながら、建設場所の選定を行ってまいります。	具体的な計画の段階で参考とする
51	建設場所	立地環境として市街地に賛成します。駅から近く、公共交通機関によるアクセスが便利な県民会館跡地が最適と考える。	現在地での立て替えは、大ホールが使用できない期間が生じることから、現時点では困難と考えております。ご意見も参考としながら、アクセスの良さに着目し建設場所の選定を行ってまいります。	構想等への反映は困難
52	建設場所	二つのホールで同日にイベントを開催する場合、両方のスタッフや機材車用の駐車スペースが十分に確保されない限り、主催者は安心してイベントを開催できないので、立地は十分な駐車スペースが確保できる郊外が妥当と考える。	空間構成については、施設の設計で工夫できることもあるものと考えており、市街地に整備する場合でも、機材車乗り入れ等が容易になるような工夫ができるものと考えております。	構想等への反映は困難
53	建設場所	イベントの企画・実施に従事しているが、公共交通機関を利用してくるお客様はほとんどいない。コンサートの終了時間は20時半以降であり、現実的に秋田でこの時間帯にすべてのお客様が自宅まで公共交通機関を利用して帰宅できるとは思えない。	施設の整備が具体的になった場合には、バス等の公共交通機関の充実も図ってまいります。	構想に反映(P17)
54	建設場所	公共交通機関が十分発達していないにも関わらず、利用者に公共交通機関の利用を押しつけて不自由を強いる施策は、秋田県民の文化・芸術に寄与し、ひいては県民の幸福につなげるための施策といえるのか。	県民アンケート調査では、良く利用している文化施設の理由として、自家用車で行きやすいこと25.5%に対し、公共交通機関が利用しやすいが19.4%となっております。県民・市民の方々にも様々な生活条件や考えがあると思われますので、なるべく多くの方が不便を感じることをないように整備を進めたいと考えております。	

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
55	建設場所	市街地に建設するのであれば、利用者が平日の夜でも公共交通機関を使って秋田県内、市内どこにでも不便なく帰宅できるようインフラ整備することが必要である。	施設の整備が具体的になった場合には、バス等の公共交通機関の充実も図ってまいります。	構想に反映(P17)
56	建設場所	市街地では、十分な広さの搬入口が確保できず、2つのホールの搬入が重なった場合、道路で大きな機材車が長時間待機することになり、付近の渋滞が懸念され、周辺住民に迷惑をかけることになるのではないかと。	立地によっては、ご指摘があったような問題も生ずるものと考えられることから、施設の整備が具体的になった場合には、場所の選定や施設構成について、十分に検討してまいります。	
57	建設場所	市街地では、土地の広さや高額な取得価格等から施設空間が制限され、傾斜のきつい座席配置となり、足腰の悪い高齢者等には利用しづらい施設になる可能性がある。このため、安全確保のためのスタッフを配置しなければならず、経費がかかり増しになる。	空間構成については、施設の設計で工夫できることもあるものと考えており、市街地に整備する場合には十分に検討してまいります。	
58	建設場所	市街地のメリットとしてあげられている「他施設との連携」は、利用者にとってのデメリット(駐車場や公共交通機関、搬入口、施設空間などの諸問題)よりも優先されるべきものなのか。	他の施設との連携や連動性は、文化施設が集積することで、複数の施設を会場に大型の大会・会議を開催したり、共通テーマのもと芸術・文化のイベントを開催することで、文化振興や誘客の相乗効果を上げることなどを念頭に置いております。 空間構成については、施設の設計で工夫できることもあるものと考えており、市街地に整備する場合には十分に検討してまいります。	
59	建設場所	コンサートホールは、主催者がイベント等を行って初めてそこに人が集い、にぎわいが創出されるもので、駐車場や交通、搬入口などの諸問題が解決されず、主催者にとって利用しづらい施設である限り、期待されるような大型コンサートやオペラの招聘は難しいのではないかと。	空間構成については、施設の設計で工夫できることもあるものと考えており、市街地に整備する場合には十分に検討してまいります。	

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
60	建設場所	立地、交通、駐車場、施設空間など秋田市以外の県民に不便を強いるにも関わらず、秋田市が目指すコンパクトシティ構想のために市街地に立地することは、県として了承できるのか。全県民と秋田市民のメリットを再度熟考・議論して、すべての秋田県民が建設して良かったと思える施設にしたい。	建設地にかかわらず、公共交通機関や一定規模の駐車場の確保に努めたいと考えておりますが、今後、施設を具体的に検討する中で、より丁寧に県民との意見交換を行ってまいります。	
61	建設場所	「郊外」と「市街地」のメリット・デメリットを考慮して「市街地が適当である」と結論付けているが、メリットとデメリットの想定が不十分であり、更なる検討が必要であると考えます。	整備構想での比較は一般論であることから、具体的に場所を選定する際には、十分な検討をまいります。	
62	建設場所	市街地への建設は、敷地面積の縮小に繋がり、必要な搬入口数や車両の待機場所が確保できない可能性があり、主催者にとって利用しづらい施設になり、期待するような大型アーティストの招聘も難しいと思う。	空間構成については、施設の設計で工夫できることもあるものと考えており、施設の整備が具体的になった場合には、できるだけ指摘があったような利用者が不便を感じる施設としないように配慮したいと考えております。	
63	建設場所	市街地に建設するデメリットは、「駐車場用地を含め余裕のある空間構成が制約される可能性がある」と簡単に記載されている以上に大きく、逆に郊外のデメリットとして挙げられている「公共交通機関によるアクセスは比較的不便となる」は、さほど問題ではないと考えます。	車を運転しない方も多くおられることから、公共交通機関のアクセスを郊外のデメリットとして記載したところです。建設地にかかわらず、空間構成の工夫や一定規模の駐車場の確保に努める必要があると考えております。	
64	建設場所	郊外のデメリットである「他の施設との連動性」とは、「県外客の宿泊施設・飲食店等の商業施設との連動性」を指していると思うが、今回の素案では、その経済効果がどの程度のものなのか詳しく示されておらず、その効果も県民及び市民全体が享受できるものとも思えない。	他の施設との連動性は、飲食店等の商業施設との連動性ではなく、文化施設間の連動性を指すものです。が	

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
65	建設場所	旧ダイエー跡地が候補地かと思うが、周辺は住宅地であるため、騒音対策が重要である。旧ダイエー跡地に建設する場合はきめ細かく入念な近隣住民対策をお願いしたい。	建設地にかかわらず、近隣トラブルがないように対策を講じる必要があることから、十分に配慮してまいりたいと考えております。	
66	駐車場	駐車場は、練習室利用者全員が利用できる台数分が必要である。ただし、観客用は周辺駐車場に対応するものとする。	一定規模の駐車場は必要であることから、整備構想にその考え方を明記しました。	構想に反映(P17)
67	駐車場	駐車場問題は、地下に大駐車場を設置したり、旧産業会館跡地や周辺の空き地を利用したりすることで解決するのではないかな。	立地や施設構成を具体的に検討する段階で、ご意見も参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
68	駐車場	事業を主催する際、タクシー料金の高さやバスの運行本数の少なさから、公共交通機関を利用してくる人はほとんどいない。また、コンサートが終了する平日の9時前後にすべての来場者が不便なく公共交通機関を利用して帰宅するということは現実的ではない。利用者に不便を強いる状況は来場者の減少を招き、これが事業数の減少を招くという悪循環を生むことになる。	車を運転できない利用者の場合、郊外への立地は市街地以上に不便になる可能性もあります。ご指摘の問題点は、駐車場の確保という点にもあるものと思われませんが、施設の整備が具体的になった場合には、十分に検討してまいります。	
69	駐車場	郊外立地のデメリットとして「駐車場用地を含め余裕のある空間構成が制限される可能性がある」ということが挙げられているが、地下駐車場か立体駐車場を検討したかどうか。	整備が具体的となった場合には、ご意見も参考としながら、進めてまいります。	具体的な計画の段階で参考とする

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
70	管理運営	県・市協働プロジェクトとしての意義の中に「適切な役割分担によって」という表現があるが、県と市の役割分担を明確にするあまり、利用者にとって不便な施設にならないよう、管理運営体制について十分に検討してほしい。	施設の整備が具体となった場合には、いただいたご意見も踏まえ、より良い管理・運営体制を考えてまいります。	
71	管理運営	計画、建設段階から施設管理までを一貫して同じ部署が担当することで、完成後のスムーズな運営も可能となり、結果的に使いやすい施設になると考える。	施設を整備することとした場合には、予め施設の管理・運営をある程度想定した上で、整備を進めたいと考えております。	
72	管理運営	県民会館、秋田市文化会館内には現在、練習室が少なく練習会場の確保が困難であり、利用時間に制限もあることから、練習室、リハーサル室の整備、運営にあたっては、利用者団体の声を反映してほしい。	この整備構想では、核になる施設構成の方向性を示しておりますが、リハーサル室についても共通事項の中で整理したところであり、整備が具体的にになった時点で運営方法について利用者団体の意見を十分にお聞きしてまいります。	一部(リハーサル室の整備)構想に反映(P15)
73	管理運営	隣県からも集客できるようなアーティストのライブを開催したり、秋田の魅力を最大限にアピールして、積極的にコンベンションを誘致してほしい。	隣県をはじめとして全国から集客できるような施設となるように努力していきたいと考えます。	
74	管理運営	利用料金区分が最高利用料金の団体には、施設予約や使用時間に特典を設けるなど、支払った金額に見合った使用条件、サービスなどを検討してもらいたい。	施設の運営方法について検討する際に、ご意見も参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
75	管理運営	新ホールでの会館主催事業は、民業圧迫とならないよう民間企業ができないような大規模な事業か、民間企業と同種のものであれば、民間に委託する形式にしてほしい。	施設の運営方法について検討する際に、ご意見も参考とさせていただきます。	具体的な計画の段階で参考とする
76	現施設の取扱い	県民会館は解体し、市文化会館の活用は今後検討することのことだが、旧県立美術館のように放置されることのないよう、速やかに活用方法を検討してほしい。	市文化会館については、新文化施設整備後に解体することが基本になるものと考えております。	

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
77	事業の推進方法	使い勝手の良い文化施設にするため、実際に施設を利用する団体や個人の意見を採り入れてほしい。	県民と十分に意見交換した上で、整備を進めてまいります。	
78	事業の推進方法	実施設計前に、舞台に精通した人や、ホール・劇場の裏方(舞台・音響・照明)として劇場の管理・運営に携わった人の声を聴いてほしい。	文化施設の管理・運営者からも十分に意見を聴いた上で整備を進めてまいります。	
79	事業の推進方法	今後20年、30年使う施設なので、有識者だけではなく、若者や様々なグループとも話し合い、中途半端でないものを作ってほしい。	県民と十分に意見交換した上で、整備を進めてまいります。	
80	事業の推進方法	素案にあるような直接的効果だけではなく、経済波及効果や税収にもたらす効果も検証する必要がある。	経済波及効果や税収効果の算定は、今の段階では困難と考えておりますが、今後、整備が具体的になった場合には、できるだけ施設整備がもたらす効果をお示しできるようにしてまいります。	
81	事業の推進方法	演者、有識者など現場の意見を汲み上げ、全国でオンリーワンの劇場をつくってほしい。「秋田の新しい文化をここから発信していく」という気概で取り組んでほしい。	県民と十分に意見交換した上で、ご意見にお応えできるような施設を目指してまいります。	
82	事業の推進方法	あらゆる方面に配慮しすぎて平凡で無難な面白くない施設にはなってほしくない。また、芸術文化団体関係者の要望だけではなく、外部の人間の客観的な意見も十分取り入れてほしい。	多くの県民の意見を聴きながら、より良い施設の整備を進めてまいります。	
83	事業の推進方法	市民団体の声だけでなく、主催団体(プロモーター、放送局等)の意見も積極的に汲み取っていただき、一部の方ではなく県民すべてが広く恩恵を受けられるような秋田県の文化・芸術に寄与する新ホールの建設を希望する。	整備構想の策定にあたっては、県民意識調査を行い、文化団体、文化イベントのプロモーター等の意見聴取を行っておりますが、具体的な計画を策定する前に、再度、丁寧に県民等と意見交換を行ってまいりたいと考えております。	

「新たな文化施設に関する整備構想(素案)」に関するパブリックコメントへの対応について

No	区分	パブリックコメントの意見の概要	県・市の考え方・対応	整備構想等への反映
84	事業の推進方法	現状の素案では多くの秋田市民と県民の理解を得るのは難しいと考える。不確かな「経済効果」を優先し「県民と市民の利便性」を疎かにしていないかもっと深く掘り下げた精査と検討が必要だと思う。並行して「街の賑わい創出」のための街づくりのビジョンを秋田市民と県民に提示すべきだと考える。	ご指摘のとおり街の賑わい創出という観点での位置づけは重要と考えることから、施設の整備が具体的になった場合には、より深く検討してまいります。	
85	事業の推進方法	施設の設計や詳細な設備等の検討は今後のことだと思うが、その際には是非、放送事業者の意見・要望も聞いてほしい。	県民と十分に意見交換しながら、検討を進めてまいります。	
86	他事業との関連	経済的効果を考えると「大型文化施設」と「泉・外旭川新駅」はセットで議論すべきと考えます。	現時点では、両施設の検討は別のものと考えております。	構想等への反映は困難
87	他事業との関連	構想自体には大賛成だが、既に完成した県立美術館やエリアなかいちの場所と一体で論じられるべきだったと思う。	既存の文化施設との連携や連動性を十分考慮しながら、整備を進めてまいります。	